

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-6300
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校教育における食育推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるため、学校教育における食育の推進を図る。		
29年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日新町学校給食センターで各種食育関連行事を開催するなど、センターを食育の拠点として活用する。 ・市内各調理場で、調理場の状況に応じたアレルギー対応を実施する。 ・私立幼稚園に園児・保護者への指導を行い、幼児期からの食育を推進する。 ・地域の特色ある給食を提供するため、統一献立を一部変更した献立を実施する。 		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	小・中学校、幼稚園の児童・生徒・園児
意図（どのような状態にしたいか）	様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する知識を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
食に関する年間指導計画を作成している学校数	校			71	71	71
食に関する年間指導計画を作成している学校の割合	%			100	100	100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
学校給食における県産食材使用率	%	目標値			35	35	35
		実績値			30.9		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 大量調理や食材として適さない青果物は、県産であっても、給食献立の食材にするのは難しい。また、天候不順などで生産量が不足したり価格が高騰した場合、急な献立変更などで対応することが困難なため、県産食材の優先的な活用が定着しにくいなどの理由により、目標が達成できなかった。							(達成度) 88.3% 30点
成果指標名（どのような成果が得られたか） 食育セミナー開催回数	回	目標値			4	4	4
		実績値			4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 食育セミナーについては、親子料理教室・朝日新町学校給食センター見学会・子ども料理教室・収穫体験を実施して目標数値を達成した。							(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	16,108	16,643	12,296	12,416
（事業費）	[円]	4,298	4,360	4,445	4,565
（職員人件費）	[円]	11,810	12,283	7,851	7,851

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

朝日新町学校給食センターを食育の拠点として活用し、食育セミナーの開催や私立幼稚園の巡回指導等を実施して食育の推進に努めたが、学校給食における県産食材使用率の達成に課題が残った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

朝日新町学校給食センターを食育の拠点として活用し、食育セミナーの開催等引き続き食育の推進に努めるとともに、県産食材使用率の目標を達成することができるように、関係機関と協議する。